資料２

個別の指導計画

〈前期：４月～９月　　後期：１０月　～３月〉

ふりがな 氏　名	（　年　　組）	作成年月日 平成　　年　　月　　日	作成者 （担任）
障害及び諸検査	・ 医師の診断（ 有 ・ 無 ）　障害の種類【　　】　その他【検査結果　　】		
○実態と◎願い　担任	○忘れ物が多く、身の回りの整理整頓がなかなかできない。 ○休み時間などは一人遊びが多い。集団で行うゲーム的な遊びはトラブルになることが多い。 ◎身の回りの整理整頓ができるようになってほしい。		
○実態と◎願い　保護者	○		
長期目標	○一定時間、授業に集中し、苦手な教科に対しても自分から取り組むことができる。 ○忘れ物を少なくするとともに、身の回りの整理整頓ができる		
支援チーム	ア　校長　イ　教頭　ウ　教務主任　エ　養護教諭　オ　学年主任　カ　生徒指導主任 キ　コーディネーター　ク　その他（支援員）　ケ　担任		

・客観的な検査等の結果を記入する

・学校生活における指導上の課題について記入する

・保護者に記入してもらう。必要な生育歴、生活環境や保護者の願いを記入する

・１年を目安に、達成可能な目標を立てる（必要により修正）

・メンバーに○をつける

場面	実　態	短期目標	支援の方法	評　価
学習面	○漢字練習は集中して取り組む。作文は限られた量の文になりがちである。	○苦手な国語でも、20分間は集中して授業に取り組むことができる。	○１時間の学習の流れや内容・時間を示し、見通しがもちやすいようにする。【担任】	○10分程度しか集中できない授業もあったが、全体的に意欲的に取り組める時間が長くなって、本人なりの頑張りを見ることができた。
行動面		○「持ってくるもの、整理整頓チェックリスト」を毎日忘れずに記入することができる。	○持ち物について、連絡帳と共にチェックリストを準備し、家庭でも一緒に確認してもらう。	
対人面				
その他				
家庭				

・教科や生活場面などで困っている様子などを記入する。
・よさを記入する

・支援の方法で直接支援に携わる職員を【　】で明記

・学習環境の設定、教材・教具の工夫、見通しを持てるような工夫を記入する。支援チームの職員も明記。

・目標や支援の方法について評価する。保護者へ報告、説明をする。

・半年間を目安に立てる（抽象的な表現は避け、具体的な目標にする）

・家庭で最優先して取り組む目標や支援を記入する

今後の課題	

・後期又は次年度へ引き継ぐ指導の方向性や有効な手だてを記入する